

備前市施策評価シート

(平成17年度事業)

施策名 (小項目)	農業	コード 04-01-01	担当課 電話	農林振興課 0869-64-1831
--------------	----	-----------------	-----------	-----------------------

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	農地の高度利用、農業基盤整備、団地化等を推進し、生産性の高い農業を育成するとともに担い手農業の経営拡大を図る。	
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)	水田農業が主体なので、稲作農家からの要望は適地稲作、良質米生産を希望するが多い。耕作条件不良の溜田等では多作物への転作推進は歓迎されていない。 市民意識調査の結果、関心度が低く重要度、満足度も低い。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	①農用地の面積が年々減少傾向にあり、1戸あたりの耕作面積も規模も零細である。 ②農業従事者の減少化。 ③国際化、高齢化に加え農業基本法の施行など農業環境は大きな転換期を迎えている。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 農業組織の整備を促進する。 農業基盤の整備を促進する。(農業生産施設、農業経営、農業生産施設の再編整備等) 農業振興地以外の農地も整備する。 農作物の被害防止に努める。 都市住民との相互交流に努める。 	

⑤ 施策成果指標の検討・設定(基本目標・基本施策・施策意図から検討する)

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
生産性の高い農業の育成	農業産出額	1
農作物の被害防止対策	農作物の被害額	2

施策に対する 成果指標名	単位	評価年度 H17	目標値		ベンチ マーク	指標の説明
			H23	H28		
1 農業産出額	千円	87.0			754	16~17岡山農林水産統計年報。 農家の努力によるため目標設定できない。
参考1 農作物の被害額	千円	5,420.0			15,517	水稲共済支払額。 天候、獣害等によるため目標設定できない。
参考2						
参考3						

市民意識 調査結果	施策名	調査年度	H18	H19	H20	H21	H22
	農業	重要だと思っている市民の割合 %	2.5				
		満足している市民の割合 %	7.8				

⑥ 施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名 ()はその人件費(単位:千円)	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	直接事業費(単位:千円)			優先 順位 (A~C)
			17年度 事業費			
1 農業委員会運営事業 (9,351)	C	農業委員会設置事業	10,868			A
		農業委員公務災害共済制度保険料	20			B
		県農業会議拠出金	238			C
		県都市農業委員会事務研究会負担金	5			C
		備前地区農業委員会協議会負担金	40			C
		県農業委員会職員協議会備前支部負担金	18			C
2 農業用施設整備事業 (12,300)	B	単独事業	20,994			B
		非補助融資事業	144,797			B
		小規模土地改良事業	33,579			B
		新農業水利システム保全対策事業	0			B
		土地改良施設適正化事業	5,307			B
		広域営農団地農道整備事業	100			B
3 農業用施設維持管理事業(備前) (7,098)	A	農道管理事業	2,734			B
		ため池管理事業	1,603			A
		かんがい排水管理事業	4,961			A
		頭首工管理事業	1,149			A
4 農業用施設維持管理事業(日生) (600)	C	農道管理事業	921			B
		ため池管理事業	443			A
次葉へ						

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)

H17
631,901

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

⑧ 施策の評価

5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い

項目	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	4	法令等により実施が定められており、ほぼ予定どおり実施され達成度は高い。	3	目標値が定かでない
2 事業構成の適当性	3	主要食料に係る生産から調整までの事業を中心として構成している。	3	担い手の育成が急務である
3 施策の有効性	3	国の施策が多い中で備前市にあった農業施策を実施しており有効性は高い。	3	国県の施策が中心であり有効である
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		国の施策の中で補助事業として実施される事業が多く、農業振興を図る上では妥当だと思う。今後は工事等については、工法検討し費用の削減。補助金・負担金については事業内容を精査し再度見直し検討していく。		担い手育成と耕作放棄地の活用が急務である
担当部長コメント		農地の高度利用、農業基盤整備、団地化等を推進し、生産性をあげるとともに、担い手の育成を図ることが急務である。		

施策名	農業
-----	----

⑥ 施策構成事務事業の評価 (続き)

担当課長評価

施策を構成する事務事業名 ()はその人件費(単位:千円)	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	直接事業費(単位:千円)		優先 順位 (A~C)
			17年度 事業費		
5 農業用施設維持管理事業(古永) (2,200)	A	農道管理事業	163		B
		ため池管理事業	294		A
		かんがい排水管理事業	975		A
6 災害復旧事業 (11,643)	B	農業用施設災害復旧事業(補助)	142,470		A
		農業用施設災害復旧事業(単独)	66,423		A
		農地災害復旧事業(補助)	19,437		A
		農地災害復旧事業(単独)	3,795		A
7 農業関連負担金事務 (1,440)	C	県穀物改良協議会負担金	11		C
		県ふるさといきいき推進協議会負担金	50		C
		市農業技術者連絡協議会負担金	20		C
		県農業開発研究所賛助会費	30		C
		中国地区都市農業行政問題研究会負担金	5		C
		吉井川広域交流協議会負担金	900		C
		和気農業技術者連絡協議会負担金	39		C
		備前地区農業農村振興協議会負担金	186		C
		全国中山間地域振興対策協議会会費	20		C
		東備農業共済事務組合負担金	186		C
		県土地改良事業団体連合会負担金	53		C
		岡山県営耕地事業推進協議会会費	6		C
		8 米の需給調整事業 (11,212)	B	農家連絡員謝礼	175
各種事業調査活動資金	32				B
需給調整事業	741				B
地域水田農業ビジョンシステム保守委託料	1,236				A
水田農業経営確立対策推進事務電算委託料	510				A
9 農業生産基盤維持事業 (2,684)	B	新農業構造改善事業元利補給金	4,293		B
		農業近代化資金利子補給金	69		B
		農業経営基盤強化利子補給金	9,456		B
		農業基盤整備(団体営)資金借入金元利補給金	20,300		B
		東鶴山土地改良区借入金元利補給金	19,018		B
10 地域農政推進対策事業 (6,382)	C	農業振興地域整備促進協議会委員報酬	208		B
		農業振興地域整備計画策定業務委託料	0		C
		農業振興対策補助金	181		B
		地域農業システム化補助金	0		C
11 中山間地域等振興事業 (2,947)	C	中山間地域等直接支払制度交付金	13,616		A
		中山間地域保全基金積立金	1		C
12 山村地域等振興事業 (2,190)	D	県山村振興連盟負担金	45		C
		交流まつり運営事業	728		A
13 山村地域活性化施設管理事業 (1,280)	B	南方釣堀公園管理運営事業	806		A
		八搭寺ふるさと農園管理運営事業	5,670		A
		八搭寺ふるさと館管理運営事業	1,200		B
		薬草園管理委託料	600		C
14 農作物獣害防止施設設置事業 (1,768)	B	農作物獣害防止施設設置補助金	953		A
15 猟政事業 (3,519)	C	有害鳥獣捕獲柵設置補助金	289		A
		有害鳥獣駆除事業補助金	1,772		A
16 地域農産物振興事業 (2,132)	B	ピオーネ生産拡大対策補助金	4,552		A
17 担い手等後継者育成事業 (3,164)	B	就業奨励金支給事業補助金	300		B
		後継者育成事業	70		A
		結婚推進協議会助成金	240		B
		生活改善クラブ助成金	90		C